



アメリカの政治の仕組み（宗教事情）

アメリカは無宗教の国であると憲法により定められている事はご存じでしょうか？今回、アメリカの宗教事情について少し説明したいと思います。

権利章典というのは、アメリカ憲法修正第1条から第10条までの国民の基本的人権に関する規定であり、言論や信教の自由権利、武器を持つ権利が保障されています。この権利章典の修正第1条により、議会では宗教的な行為を自由に行う事を禁ずる法律を制定してはいけなとあります。例えば、イスラム教の礼拝式を禁止することができませんし、ある宗教を優待するという法律を制定することもできません。アメリカでは教会と政治が分離する「政教分離の原則」がとられているからです。

現在アメリカでは、「論争を教えろ」という政教分離原則に関する特に大きな社会問題が議論になっています。

キリスト教の保守派は、進化論には不備があるため、進化論に反する創造論もあるということとを学校の教育課程に入れようとしています。創造論の主なポイントは、生物は進化するのではなく、神様が5000年位前に全ての生命を現状のままで創造したということです。例えば、フランス王は進化論を信じますが、神様は天地万有を全て創造したとも信じているため、神様は進化をさせると考えています。現在およそ48%のアメリカ人が創造論に賛成する現実に直面すると、この社会問題は考えられないことではありません。

また、進化論は争うものではないし、公立学校で創造論を教えるのは政教分離の原則に抵触している違反行為だとし、少なくとも科学の授業ではなく、聖書学の授業で教えて欲しい等の理由で「論争を教えろ」に反対する人も多います。

この議論が最高裁判所の判決により、「創造論には科学的な証拠がないため、公立学校の科学教室で聖書的な科学を教えることができない」と判断されました。それでも、「論争を教えろ」に賛成する人は今でも活発に活動していて、近いうちに終わりそうな問題ではありません。

American Politics (Religion in America)

Did you know that, according to the U.S. Constitution, America is a secular state? This month, I would like to explain a little bit about the current state of affairs of religion in America.

Many of the basic rights of American citizens are outlined in the Bill of Rights (the first 10 amendments to the constitution); including such fundamentals as Free Speech, Freedom of Religion and the Right to Bear Arms. According to the first Amendment, congress may not make a law which infringes upon an American citizen's right to practice religion. A law banning the practice of Islam, for example, would be unconstitutional. On the other hand, congress also may not make a law which gives preference to any religion. This is because America has something called, "Separation of Church and State" which means that religion and politics are separate and sovereign entities and are not to be entangled.

Currently in the U.S. there is debate going on over a prominent issue pertaining to the separation of church and state called, "Teach the Controversy". There are many Christian people in America who believe that Evolution is an incomplete theory, and so would like Creationism to be taught in schools in order to inform children that there is another explanation. The main point of Creationism is that life does not evolve, but was rather created by God in its current form roughly 5000 years ago. Of course there are also variations on Creationism. Pope Francis, for example, accepts Evolution as science explains it, but maintains that God was the one who set it all in motion. At present, about 48% of Americans believe in Creationism of some kind. When faced with this fact, it is easy to see how this could be a highly controversial issue.

There are also those who are opposed to Creationism being taught in public schools and argue that Evolution is a scientific fact, that it would go against the separation of church and state and that at the very least it should be kept out of science classrooms.

According to recent Supreme Court rulings on such issues, Creationism has no scientific evidence to back it up, and so to teach it in a public school science classroom would be unconstitutional. Even so, those who fight to have Creationism taught in schools are still quite actively pursuing that goal. No matter how you look at it, this is not an issue that appears as though it will come to an end any time soon.



こめす えま
米須 笑麻ちゃん(0歳)西原在



しよき たれお
諸喜田 伶旺ちゃん(1歳)屋富祖在



さんじょう じょうのすけ
金城 常之助ちゃん(2歳)
さんじょう じんた
金城 人太ちゃん(0歳)城間在

「てだっ子STUDIO」写真募集

●日頃の子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月月末までに送付してください。
窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
※被写体の子どもの氏名(ふりがな)・年齢(0か月、1歳など)・居住地区(安波茶・伊祖など)
一言コメントの記入を忘れずに！

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎(876) 1234(内線2613・2614)
E-mail:kokusai@city.urasoe.lg.jp

ハイサイ こちら市長室！

「18歳選挙権と政治」

あなたは初めて投票に行った日のことを覚えていますか？私は初めての選挙がどの選挙で誰に投票したのかはすっかり忘れてしまいましたが、きつと夏の選挙だったのでしよう。投票所のもやつとした暑さが印象的だったのを覚えています。

さて、今年は選挙Year（イヤー）と言われ、今月6月と来月7月にも選挙が行われますが、改正公職選挙法は来る6月19日に施行されます。施行後初めて公示する国政選挙から18歳選挙権が適用されるため、この7月に行われる参議院選挙が日本の選挙史上初めて18歳以上が投票できる選挙となります。これは今後の少子高齢社会の到来を見据えて若者に対して

象とした政策をより充実させていくため、その当事者である若者たちに、積極的に政治への関心を持って頂き考えてもらうことが目的だと思われます。若い人たちに当事者意識を高めてもらい、前向きにこの国の未来と一緒に見つめて担ってもらいたいと、私たち「大人」が願うたからなのです。

今の政治について100%満足している人は少ないことでしょう。また、今の政治家が国民から万全の信頼を得ているかと言え、残念ですがそれも心もとなない状況であり政治不信が蔓延する要因となっていると思われます。しかし、政治とは完璧ではない私たちが織りなす複雑な人間世界の縮図でもあり、だからこそより多くの人が政治へ関心を寄せて参画してい



浦添市長
松本哲治

なくてはなりません。嘆いていても、批判だけしていても、何も生まれません。私たち一人一人が悩み、憂い、迷いながら終わらなき試行錯誤を繰り返し続ける以外に、未来へと続く道はありません。国民が政治を見限る時、政治も国民をなおざりにしていくことでしょう。

先人達から時を受け継ぎ、また次の世代へと繋いでいく責任が私たちに
あるならば、政治へ関わることは権利ではなく、義務なのとも言えます。
明るい未来を想像しながらワクワクする気持ちで選挙へ行く、そんな後ろ姿を選挙新人の若者たちに見せていきましよう！

問い合わせ
秘書課☎(876) 1234
(内線2563)

文化課発信 うらそえ ありんくりん 第15回

～ うらそえ歴史ガイドツアー!! ～

夏休みはどうしようかな？と思っている人、県外から親戚や友人が来るけど、どこに連れて行こうかな？と考えている人に必見！実は、浦添には歴史的なスポットがたくさんあります。

浦添ようどれ、浦添グスク、玉城朝薫の墓など古き時代の面影が今なお残っています。名前は聞いたことがあるけど場所はわからないし、詳しい内容は難しそうで友達や子ども達に説明できないし…と思われた人、安心してください。浦添には、歴史スポットを解説する「うらおそい歴史ガイド」の資格を持った人たちがいます。「浦添グスクやようどれを案内してほしい」、「石畳の道を歩いてみたい」、「御嶽（うたき）やカー（井戸）など沖縄の文化を学べる場所を歩きたい」、「浦添で沖縄戦について勉強したい」など、相談に応じて有料でガイドをしています。モデルコースもあります。地元でも普段は知らないところを歩くことで、ちょっとした観光気分を味わうことができ、学校の授業、研修・視察、模合仲間と一緒になど、すでにたくさんの人にご利用頂いています。今年の夏は、琉球王国を生み出した浦添の歴史スポットめぐりはいかがでしょう。

問い合わせ：
「浦添グスク・ようどれ館」
☎(874) 9345
開館時間：午前9時～午後5時
休館日：月曜日（祝日は開館）
※料金や参加人数、コース内容
など、お気軽にご相談ください。



▲ガイドの様子(浦添ようどれ)



問い合わせ 文化課 内線6214・6217